

# 斜里海浜でのサケ・マス釣りルール説明会



# 1. 背景

斜里町にとってサケ・マスは大切な財産。サケ・マスを育む自然環境も大切な財産。斜里では海浜でのサケ・マス釣りが盛んだが、釣り人が多く訪れることで様々な課題も。

- ①人身の安全性
- ②漁港の機能低下と衛生環境の悪化
- ③住民の生活環境と治安の悪化
- ④観光地における釣り人による駐車場の占有
- ⑤サケ・マス資源への影響
- ⑥ヒグマの誘因
- ⑦砂浜海岸の占用と砂丘破壊

## 2. 検討の経過

2022年6月 斜里町海浜利用適正化検討協議会設立



海浜でのサケ・マス釣り課題解決に向けた調査検討



2023年2月

協議会から斜里町長に調査報告書と提言書の提出



## 報告書概要 ②アンケート

- ・協議会の会員とオブザーバー (29名)
- ・海浜清掃参加の斜里町民 (51名)



「海浜での釣りに課題がある」と回答 79%

- ・釣り人等 (338名)



「ライセンス制が(大変)望ましい」と回答 72%

# 報告書概要 ③法令や事例調査

## ライセンス制の可能性

- 漁業に関する規制が出来るは大臣か知事か海区漁業調整委員会。(町に権限は無い)
- 水産庁長官通知では、船釣りについては漁場利用調整の観点から海区漁業調整委員会指示により、許可制(ライセンス制)とすることが可能な旨が述べられている。
- 上記通知では、海浜からの釣りを許可制とすることが「可能」とはされていない。  
全国の委員会指示の事例でも確認できなかった。

## 報告書概要 ③法令や事例調査

### 遊漁規則、入漁料は設けられないの？

- 内水面では、内水面漁協が知事の認可を受けて遊漁規則や遊漁料を定めることができる。(漁業法第170条)
- 遊漁規則を定めることができるのは内水面のみであり、海面に設けることはできない。
- これは内水面の資源の特性として、遊漁の比重が高く、増殖しなければ成り立たない魚種が多く、海面漁業とは性格が異なるためとされている。  
このため、内水面漁協は対象魚種の増殖や環境整備等の義務が課される。

## 湘南エリアでの海・浜のルール

海浜のレクリエーション利用が盛んな湘南では、沿海市町で「海・浜のルール」が設けられている。

法令を根拠としないローカル・ルールでも、啓発を続けることで定着している

自治体名	ルール名
横須賀市	海・浜のルール横須賀「長井」
葉山町	海・浜のルール
逗子市	逗子 海・浜のルールブック
鎌倉市	鎌倉 海・浜のルールブック
藤沢市	藤沢 海・浜のルールブック
茅ヶ崎市	茅ヶ崎 海・浜のルールブック
平塚市	海・浜・川のルールブック

# 報告書概々要

## 課題解決方法の可能性

- これまでの取り組みや規制等により、改善している課題も多くあり、その継続が必要。
- さらなる適正化に向けて、ローカル・ルールの設定が適している。
- それでもなお課題が解決しない場合は、条例による立入規制等が考えられる。
- ライセンス制を検討する価値は高いが、現在の法制度では難しく、承認や管理体制を整えることも難しい。



同様の趣旨の提言書を斜里町長に提出

### 3. ルール暫定版

#### (1) ルール暫定版の検討

関係団体等の協力のもと

斜里海浜サケ・マス釣りローカルルールの検討



## (2) ルール暫定版の内容

### ●法令に根拠のある内容



### ●お願いによる内容



# (3) 利用の状況

## 釣り人の来訪数

令和4年（2022年） 24,464人

令和5年（2023年） 21,049人

(さけます・内水面水産試験場、北見管内さけます増殖事業協会、西網走漁協、網走漁協、斜里第一漁協、ウトロ漁協、網走市、斜里町による調査より)



# 釣竿の本数

令和4年（2022年） 5.9 本／人

令和5年（2023年） 6.4 本／人

(さけます・内水面水産試験場、北見管内さけ・ます増殖事業協会、西網走漁協、網走漁協、斜里第一漁協、ウトロ漁協、網走市、斜里町による調査より)



# 釣獲尾数

令和4年（2022年）

尾／人／2時間

	フンペ・籽カバケ	以久科
8月	0.17	—
9月	0.19	1.97
10月	—	1.44
11月	—	0.61

令和5年（2023年）

	フンペ・籽カバケ	以久科
8月	0.15	0.28
9月	1.65	2.22
10月	0.82	1.51
11月	—	0.89



## (4) クリーンアップ作戦



- ・ 範囲 3区間合計9.1km
- ・ 実施日時 令和5年9月14日13:00～15:30
- ・ 参加者 10機関34名ほか報道4名
- ・ 実施内容 ローカル・ルールPR、ゴミ拾い  
場所取り杭抜き、工作物等撤去の呼びかけ
- ・ 主催 斜里町

## (5)ルール暫定版の総括

良くなった！

- ・場所取りは激減した。
- ・浜の治安は良くなり、「一般的な釣り人」が増えた。

変わらず..

- ・テントの使いまわしによる拠点化が見られた。
- ・路側帯への駐車、ゴミのポイ捨て、焚火は散見される。

新しい課題

- ・遠方来訪者が増え、地元の人が釣場を確保しにくくなった。
- ・ヒグマ出没に伴う対応が頻発した。

## 4. ルール確定版

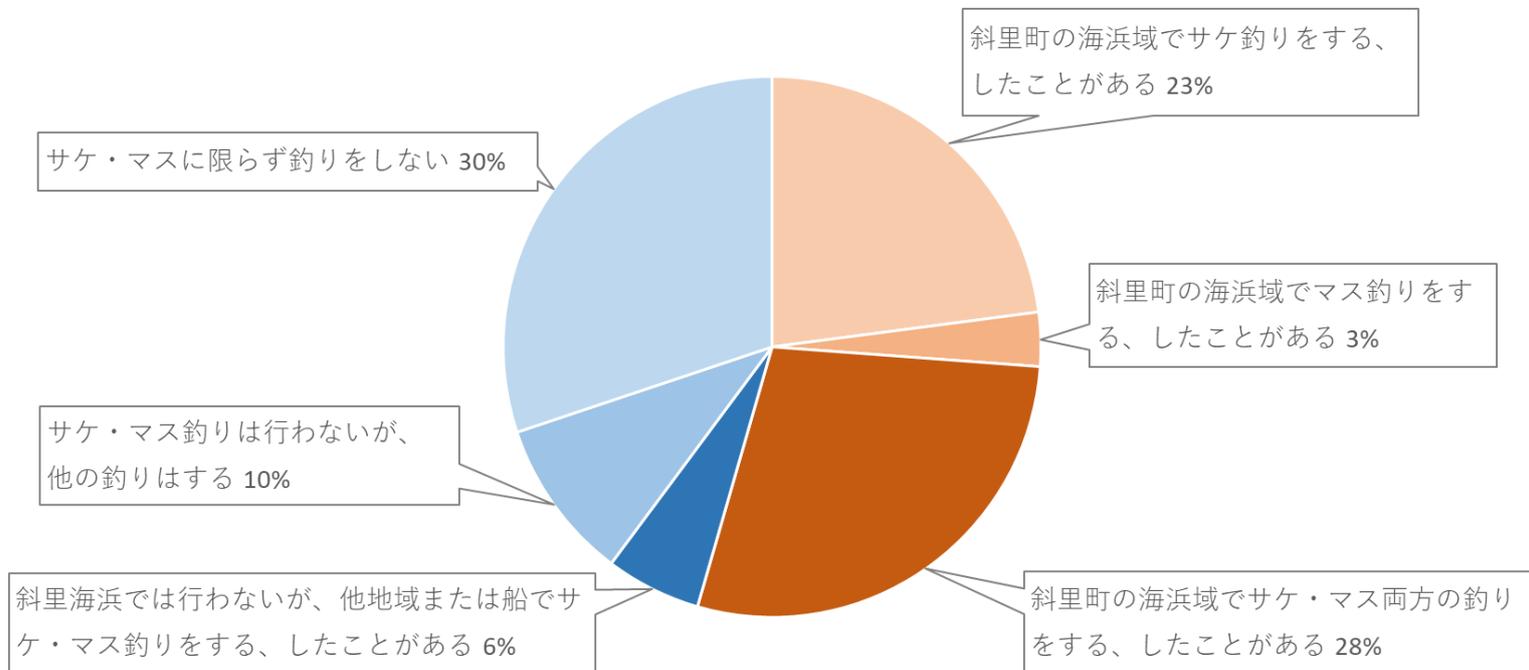
### (1) 検討経過

#### アンケートの実施

期間:8月~11月

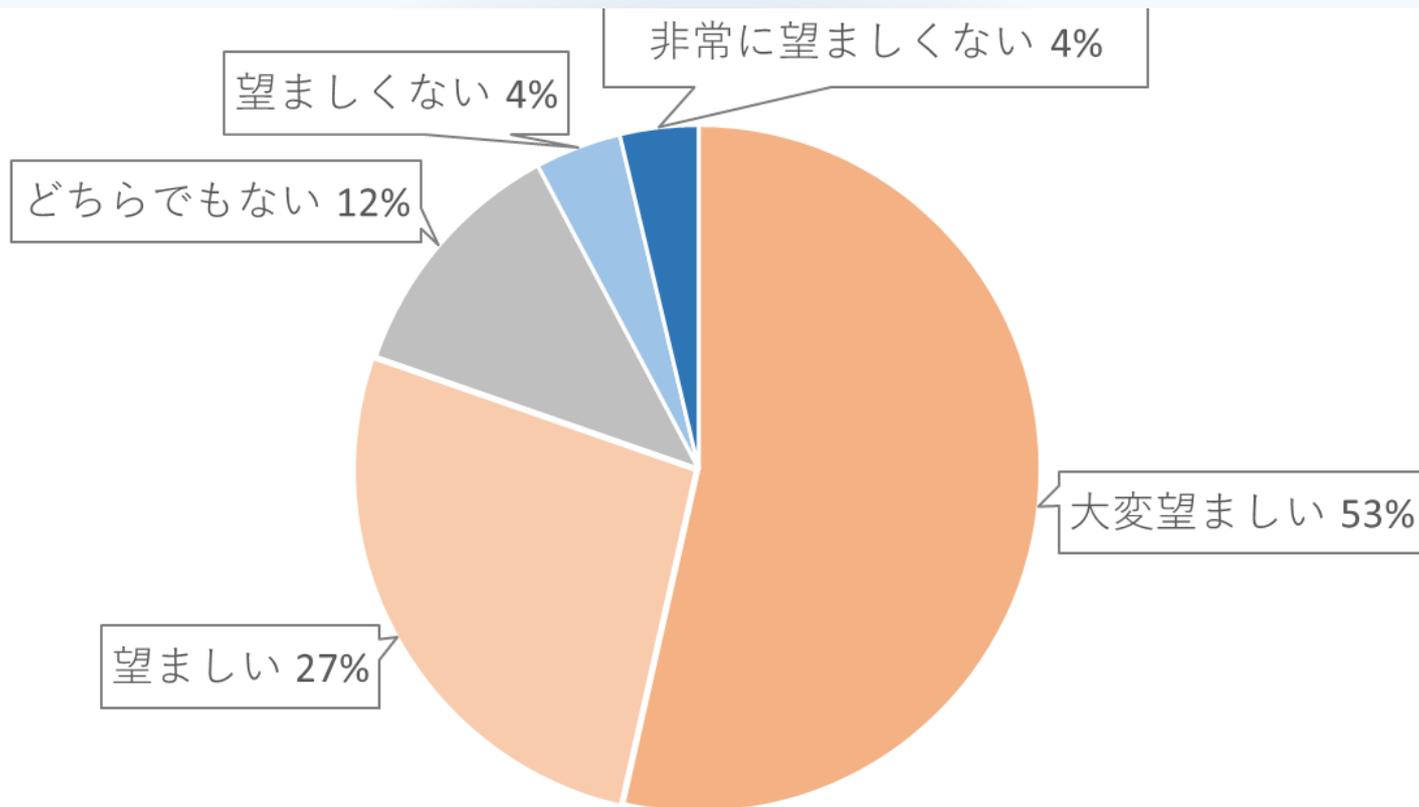
回答者:280名

Q1. あなたは斜里町の海浜域でサケ・マス釣りをしますか？



回答者のうち、女性2割、町民5割、釣り人7割と程よいバランスで回答が得られた。

釣り人も町民も、概ね前向きに受け止めている。



Q8. 斜里町では海浜でのサケ・マス釣りに関するローカル・ルール暫定版の運用を行っておりますが、このことについてどう思いますか？

## 自由記述欄の概要

(1) 記載人数: 173人(280人中)

(2) 主な内容: 次のとおり分類された。

※記載に複数の内容が含まれてる場合は、内容ごとに計数

内容	件数
ルールへの期待	60
釣りの有料化やライセンス化の提案	40
釣り人からの釣りマナーへの苦言	25
さらに厳しい規制を望む意見や提案	23
住民からの釣りマナーへの苦言	17
ルールの担保性への疑問	15
尾数制限への意見や提案	14
釣り人が来訪することでの地域活性化の期待や提案	13
町内釣り人からの町外者釣り人への不満	12
ルールへの不信	11
違法行為の取締強化を望む意見	11
禁止場所開放を望む意見	10
漁業のために釣りが制限されることへの不満	8
ルール周知徹底の注文	5
漁業系ゴミへの苦言	4
尾数制限への不満	4
竿数制限への意見	4
ルールへの不満	3

# 斜里海浜のサケ・マス釣りを考えるシンポジウム

日時: 令和5年9月2日  
13時～17時

場所: ゆめホール知床

参加者: 106名



## 斜里海浜のサケ・マス釣りを考えるシンポジウム

日時 2023年 **9月2日(土)** 会場 **ゆめホール知床**  
公民館ホール  
13:00～17:00 斜里町本町4 TEL.0152-22-2222

検討中の斜里海浜サケ・マス釣りのローカル・ルールについて考え、広くご意見を聞くためのシンポジウムを開催いたします。釣りを楽しまれる皆様、海浜に関わる多くの皆様のご参加をお待ちしています!

### PROGRAM

#### 1. 特別講演

芦之湖の遊漁と環境保全の取り組み 芦之湖漁業協同組合 結城陽介氏

#### 2. 話題提供

- ◎ 知床での釣りとはぐマ
- ◎ サケ・マスの釣り方あれこれ
- ◎ 漁師による資源と環境への取り組み
- ◎ 河口規制を行った自然産卵河川での調査
- ◎ 斜里海浜サケ・マス釣りローカル・ルールの検討

#### 3. パネルディスカッション



**参加無料/要申込み** (定員150名、先着順)

左のQRコードをスマホで読み取り申し込み

or お電話 0152-26-8374 (平日9:00～12:00 / 13:00～17:00)



概ね主旨に沿って進められ、  
前半は演者から多様な角度で釣りの問題や事例が語られました。

## 様々な立場からの提言

資源を守り育てるために河口付近のサケ・マス採捕規制を行っています。継続した対策へのご協力をお願いします

さけます内水試 こしの ようすけ 越野 陽介さん



地域に愛着を持つこと、そして釣り人や行政、町民を含む多くの人が共存をめざして同じ方向を向くことが大切です

芦之湖漁協 ゆうき ようすけ 結城 陽介さん



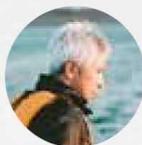
知床はヒグマ生息域です。釣り場にヒグマが出没したら荷物を残さずに退避しましょう

いじゆういん あやほ  
知床財団 伊集院 彩暮さん



漁業者は漁獲量の8.6%を資源保護費として負担しています。食べきれないほど釣る等、レジャーの域を超えた釣りはやめませんか

北洋共同漁業部 いとう まさよし 伊藤 正吉さん



釣り人にはサケはスペシャルな魚だと認識して大切に扱ってほしい。関係者全員が利益を共有できるルール作りを期待しています

うすい たいら  
臼井 平さん



- ・パネルディスカッションでは、ローカル・ルールに対して前向きな意見が多くを占めました。
- ・釣竿の数や持帰り尾数を制限することの必要性も概ね意見が一致しました。
- ・会場参加者からは、さらに厳しい規制を求める意見もありました。



# ルール検討のための意見交換会

## 第1回

日時：1月23日 18:00-19:30

場所：ゆめホール知床会議室1

出席者：39名



## 第2回

日時：3月2日 16:00-17:30

場所：ゆめホール知床会議室1

出席者：40名



## 意見要旨(一部)

- ・ 3本3尾では少ない ⇔ 3本3尾で良い
- ・ 守られるルールにしてほしい
- ・ 人が増えることが心配
- ・ リリースなど誤解されない表現にしてほしい
- ・ ライセンス化を目指すべき



名称

斜里海浜サケ・マス釣りローカル・ルール



斜里海浜サケ・マス釣りルール

# 釣り竿の本数検討総括表

釣り竿本数	項目							合計点
	一般的な理解	ブッコミ 釣り人の希望	釣り文化の尊重	類似ルール とのバランス	伝わりやすさ	来訪者の投機的 な動機の抑制	可搬性	
①	◎	×	△	○	◎	◎	◎	15
	シンポ40% ウエブ23%	ウエブ3%	ウエブ12% 現地調査0%	6例	印象に残りやすい数		1.9kg	
②	◎	△	△	◎	○	◎	◎	16
	シンポ37% ウエブ19%	ウエブ9%	ウエブ10% 現地調査5%	16例			3.8kg	
③	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	19
	シンポ13% ウエブ23%	ウエブ26%	ウエブ22%、現地調 査10%、雑誌2例	4例	印象に残りやすい数		5.7kg	
④	×	△	◎	×	△	○	△	8
	シンポ0% ウエブ5%	ウエブ9%	ウエブ7%、現地調査 15%、雑誌1例	0例	語呂の悪い数		7.6kg	
⑤	△	◎	◎	×	◎	△	△	12
	シンポ4% <small>(6本以上4%)</small> ウエブ16% <small>(6本以上6%)</small>	ウエブ25% <small>(6本以上21%)</small>	ウエブ17% <small>(6本以上32%)</small> 現地調査12% <small>(6本以上 55%)</small>	0例	印象に残りやすい数		9.5kg	
補足	何本にするのが良い と思うか、アンケート の全員の回答より。 ・シンポジウムn=75 人 ・ウエブn=280人	何本にするのが良い と思うか、アンケート のブッコミ釣り人の回 答より。 ・ウエブn=69人	実際の釣り竿使用本 数をアンケートのブッ コミ釣り人の回答、現 地調査より。 ・ウエブn=69人 ・現地調査n=608人 ブッコミ釣りの方法を 紹介した雑誌、書籍 調査より。	釣り竿の本数を規定し ている海域等との比 較。 日本国内の海釣り施 設、漁業調整委員会 指示による船釣りラ イセンス、内水面漁 業調整規則より。	分かりやすさ、語呂 の良さ、印象の残り やすさ。 尾数と合わせるとさら に効果的。	竿を多数使用したい 遠方からの来訪者が 増え、オーバーキャ パシティ状態となっ ている。	車両乗入抑制や、ヒ グマ出没時の撤収の 容易性。 ・1セット≒竿600g+ リール400g+仕掛 200g+竿立700g≒ 1.9kg ・継続して持ち運ぶ 重量の推奨は体重 の15%以内	

# 尾数検討総括表

釣獲尾数	項目								合計点
	一般的な理解	釣り人の希望	実際の釣果との差異(サケ)	類似ルールとのバランス	伝わりやすさ	来訪者の機動的な動機の抑制	可搬性	食べる楽しみ	
①	◎	△	◎	○	◎	◎	◎	△	19
	シンボ34% ウエブ9%	ウエブ8%(0尾1%)	ウエブ28%(0尾5%)	3kg	印象に残りやすい数		3kg	20食	
②	○	△	◎	◎	○	◎	○	○	18
	シンボ24% ウエブ12%	ウエブ11%	ウエブ30%	6kg			6kg	40食	
③	◎	○	○	○	◎	○	△	◎	18
	シンボ25% ウエブ23%	ウエブ20%	ウエブ20%	9kg	印象に残りやすい数		9kg	60食	
④	×	×	△	△	△	△	×	◎	7
	シンボ0% ウエブ2%	ウエブ2%	ウエブ6%	12kg	語呂の悪い数		12kg	80食	
⑤	○	◎	△	○	◎	△	×	◎	15
	シンボ8% ウエブ28%(0尾以上5%)	ウエブ32%(0尾以上3%)	ウエブ8%	15kg	印象に残りやすい数		15kg	100食	
補足	何尾にするのが良いと思うか、アンケートの全員の回答より。 ・シンボジウムn=76人 ・ウエブn=280人	何尾にするのが良いと思うか、アンケートの釣り人の回答より。 ・ウエブn=195人	実際の釣果をアンケートのサケ釣り人の回答より。 ・ウエブn=143人	尾数や重量等を規定している海域等との比較。 ・内水面の例:5kg程度 ・対馬海区:10kg ・JGFA推奨魚種別バッグリミットの大型魚:1-3尾程度 ・秋サケ船釣りライセンス:5尾	分かりやすさ、語呂の良さ、印象の残りやすさ。 竿の数と合わせるとさらに効果的。	多数釣ることを求めて遠方からの来訪者が増え、オーバーキャパシティ状態となっている。	車両乗入抑制や、ヒグマ出没時の撤収の容易性。 ・継続して持ち運ぶ重量の推奨は体重の15%以内	食べることを楽しみとされている場合の過不足。 ・1尾≒3kg×可食70%/切身100g≒20食 ・日本人の年間サケ消費量≒3kg	



釣り竿の数は●本まで  
使用する釣り竿の数は●本以内としてください。

3本



持ち帰る尾数は●尾まで  
1日に釣るサケ・マスの数は●尾以内としてください。

3尾



## テント常設の禁止

海岸にテントやトイレを設置したままにする行為は禁止されています。

+

**テントやトイレの設置は24時間以内としてください。**

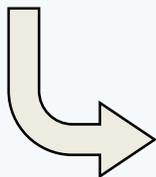
## (2) ルール確定版運用等の予定

- ・ 7月1日   ルール確定版発布
- ・ 7月中旬   釣具店等へのポスター、リーフレット配布
- ・ 7月25日   ルール確定版説明会
- ・ 7月下旬   ルール看板設置（15箇所）
- ・ 8～11月   現場啓発
- ・ 年度末   ルール運用結果報告会

## 5. 今後の方向性

暫定版は概ね順調に運用できたが、  
竿数制限と尾数制限を加えた確定版の成否は未知数

確定版が遵守されず、課題が解決しない場合は？



1)周知や啓発の強化

2)理解されやすい内容への変更？

3)立入禁止化の検討？

4)法令によるルール化を国や道に要望